

平成19年度 第1回標準化活動貢献者表彰 受彰者

(敬称略・50音順)

国際標準化貢献部門

荻野 隆彦 (財)鉄道総合技術研究所

奥谷 民雄 (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

落合 統 (株)ジェイアール西日本テクノス

桑原 正秋 (株)I H I

齊藤 嘉久 (株)京三製作所

田代 維史 (株)日立製作所

国内標準化貢献部門

入江 隆昭 大和軌道製造(株)

伴 靖夫 (社)日本鉄道電気技術協会

第 1 回 標準化活動貢献者表彰 受彰者

(50 音順)

	受彰者	所 属	主な受彰理由
国際標準化貢献部門	荻野 隆彦氏	(財)鉄道総合技術研究所	ISO の IFMS(運賃管理システム)規格の作業部会の国際専門家を務め、日本の考え方を取り入れた <u>IFMS 国際規格の成立に貢献した。</u>
	奥谷 民雄氏	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	IEC の信号用安全関連電子システム規格の国際専門家を務め、 <u>日本独自の信号リレーを含めた国際規格の成立に貢献した。</u>
	落合 統氏	(株)ジェイアール西日本テクノス	平成 2 年以降、 <u>IEC の列車伝送系規格の国内作業部会の委員を務め、規格案の審議に貢献した。</u>
	桑原 正秋氏	(株) I H I	IEC の AUGT(無人運転の安全性要件)規格において、日本における新交通システム(特に無人運転のシステム)に関する経験をベースに <u>指導的な活動を行い、規格の成立に向けて貢献している。</u>
	齊藤 嘉久氏	(株)京三製作所	IEC の AUGT(無人運転の安全性要件)規格において国際専門家を務め、 <u>プラットホームの安全に関し、日本独自の可動式ホーム柵等を含めた国際規格の成立に貢献した。</u>
	田代 維史氏	(株)日立製作所	3 つの IEC 規格で国際作業メンバーとして活動し、特に IEC の UGTMS (都市鉄道の制御体系)規格において、日本の既存のシステムが許容される方針とすることに貢献した。
国内標準化貢献部門	入江 隆昭氏	大和軌道製造(株)	延べ 10 年間に渡り、 <u>鉄道用品関連の JIS 規格(22 件)の制定・改正作業に貢献した。</u>
	伴 靖夫氏	(社)日本鉄道電気技術協会	<u>鉄道電気関係の JIS 規格(13 件)の制定・改正作業等に貢献した。</u>

ISO : International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略。電気・電子分野を除く工業分野の国際規格を策定している。

IEC : International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議) の略。電気・電子分野の国際規格を策定している。